

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇J P E C講演会が東京、大阪で開催

ー塩ビの最新情報、産業デザインの世界や製品の安全性に関する情報が紹介されましたー

## ■随想

◇オックスフォード便り（番外編 バリ島編 その2）

関東学院大学 織 朱實

## ■編集後記

## ■トピックス

◇J P E C講演会が東京、大阪で開催

ー塩ビの最新情報、産業デザインの世界や製品の安全性に関する情報が紹介されましたー

塩化ビニル環境対策協議会(J P E C)主催の講演会が2月21日竹橋の如水会館で、2月24日は大阪科学技術センターでそれぞれ開催され、東京・大阪とも60名を超える方々の参加をいただきました。

J P E Cでは会員団体の会員の方々や塩ビの製品に関係されている皆様に、塩ビを取巻く最近の状況を紹介し外部の講師を招き講演会を開催しています。

東京・大阪ともまず塩ビをめぐる最新の状況と題し、国内外の市場動向や塩ビ取り巻く環境変化について、詳しく説明が行われました。

その中でも企業の中で塩ビ復権の動きが明らかになってきていることや新たな取り組みとして塩ビ業界が昨年行ったものづくりコンテスト2011、新たなデザイン性を追及した塩ビ製品などを紹介しました。

東京は日本インダストリアルデザイナー協会の浅香理事長に「モノづくりとインダストリアル・デザイン」として講演頂きました。

浅香理事長の講演の中で、ものづくりにもデザインが重要との観点から先生が取り組まれて来た海外でのプロジェクトのご紹介があり、新日本様式として「たくみのころ」「ふるまいのころ」「もてなしのころ」を大事にしたジャパブランドの構築の動きがあるとのことでした。これからは塩ビにしか出せないような触感が大事になってくるとお話しされました。



大阪会場



東京：浅香氏講演

大阪では製品評価技術基盤機構(N I T E)の久本さんが『製品事故の調査・分析・安全情報の提供を行う』とN I T Eの仕事を紹介し、電気コンロの事故をリスク評価例を用いて説明されました。

製品安全分野のリスクアセスメントはI S O / I E Cのガイド規格に整理されており、リスクアセスメントの概念が日本になじまないのは、日本はグレーゾーンで判断するのが一般的な考え方だが、リスクアセスメント概念については白黒をつけないといけないという相違が定着しない理由だと述べられました。

ヨーロッパではグレーゾーンを設定し、日本のように製品事故を起こした企業が記者会見で『もう事故を起こしません絶対安全です』と言い切る“絶対安全”というものはあり得ないとのことです。グレーゾーンの中でリスク低減領域を設けていると、リスクについて日本とヨーロッパの考え方について詳しく説明が行われました。

講演に参加した人からは、『塩ビの最新の状況について実例を用いて説明があり参考になった』との意見や、浅香理事長の講演では『普段感じることの無いデザインの世界での新たな取り組みに感激した』、N I T Eの久本さんの講演では『動画で爆発事故を紹介し驚いた』など様々な意見が寄せられました。

今後もJ P E C加盟団体の会員会社や塩ビを使って頂いている多くの方々に、塩ビに関係する情報を発信すると同時に、皆様からのご意見を頂戴する情報交換の場としてこの講演会を続けてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。(了)



大阪：久本氏講演

## ■ 随想

### ◇オックスフォード便り（番外編 バリ島編 その2）

関東学院大学 織 朱實

バリ島編その2は、バリの日常生活ということで、島の結婚式とお葬式の写真をご紹介します。バリ島といえば、女性観光客が喜びそうなのは、エステ、マッサージ、銀細工や木工細工のお店、ビーチリゾート、ダイビング等でしょうか。

私が、今回見たかったのは「オダラン」。「神々の降りる島」と言われるほど宗教行事が日常生活に溶け込んでいるバリ島。かなりの頻度で島のどこかで、「オダラン」と呼ばれる神様に捧げものをするお祭りがおこなわれていると聞いて、「ぜひ見たい！」と思ったのですが、残念ながら今回は叶わず。そのかわり(?) 2つの結婚式とお葬式の写真を撮ることができました。

ガイドのかっちゃんの話では、バリ・ヒンズー教では「なによりもバランスが大切」。世界は、善と悪のバランスで成り立っていて、このバランスが崩れることが禍のもとになるそうです。バリ島の絵画や建築物で、黒と白、神と悪の対立の図式が多いのも、この「バランス」の教えの現れ。月々の祭事も、この考え方から3つに分かれているそうです。

1つは天の日(神様関係の行事を行う日)、2つめは人間の日(人間関係の行事を行う日)、

3つめは動物の日（動物関係の行事を行う日）。この3つのバランスを取ることが肝要。自分のことばかり考えて、お金もうけにあくせくしては駄目（これは、人間の部分だけを重視していることになる）、きちんと教会に寄附したり、お祈りしたりするという神様の部分とバランスを取らなければならない。反対にお祈りばかりしていて、人間生活をおざなりにしているのもダメ、ということらしいです。西欧的な価値観だと、俗世を忘れてお祈りをするのは褒められそうですけどね。

会議終了の翌日は、「天の日」でなく「人間の日」だったので（「天の日」は、その翌日でした）、島内のあちらこちらで、写真のような飾りが家の前に！これが赤と白や黄色であれば、そこで結婚式が行われるという印、これが黒と白であればお葬式の印だそうです。

棚田を観に、島をぐーんと北上し、途中の村でそうしたお宅の中の一つを思い切って訪問させていただきました（「いきなりお邪魔してもいいもの？」と不安だったのですが、かっちゃんは「大丈夫！大丈夫！」とお気楽。これぞバリ人気質？）。

ここでは花婿さんが、花嫁さんを迎える準備を皆が忙しくしていました。といっても、忙しそうに働いているのは女性ばかり（ご飯を作ったり、花飾りを作ったり）、オジサマ集団は縁側で暇そうに～みんなでだべっていたのが印象的（中国の雲南省でも一生懸命働いているのは女性ばかりで、男性は道端でマージャンや花札をだらだらしていました）。



結婚式の印の飾り

写真のイケメンの花婿さんは、これから町に花嫁さんをお迎えに行くそうです。村では珍しく英語のできる男性だったので、なんとか意思疎通ができました。



結婚式の準備中



結婚を祝う準備中



花嫁を迎える準備中（花婿）

次の写真は町の結婚式。村の結婚式とは違ってプロの演奏家がガムランを奏で、お料理もプロの方が訪問客に甘い飲み物やちょっとしたケーキを配ったり、こちらはちょっと日本の結婚式風。花嫁さんと花婿さんの衣装は、伝統的なバリの結婚式衣装。豪華ですよ。



どちらの結婚式でも、皆さん大歓迎で、本当に貴重な体験ができました。

バリ島の結婚式は、オープンスタイルで、一日中行っているそうです。お客様は自分の都合のいい時間にやってきて、お祝いをして、ごはんを頂いたり、おしゃべりをしたりするそうです。

そして、最後はお葬式の行進に遭遇（車を降りて、ダッシュで追っかけました！）。このお葬式は、村でもとてもお金持ちの人のお葬式だったようで、長い行列で広場までご遺体を運んでいました。驚いたことに、広場でご遺体にバーナーで火をつけて焼くのです。式の最中はずっとガムランが奏でられ、皆で歌ったり踊ったり、焼けきるまで時間を過ごしていました（かなり暑かったので、木陰で涼んでいる人がほとんどでしたが）。

バリ島ではお金のある人はすぐに火葬されるけれど、そうでない人は一旦土葬され、お金がたまった時、あるいはいくつかの遺体がたまった時に遺体を掘り起こして一緒に火葬するそうです。お葬式というと、しんみりした印象なのですが、バリのお葬式はとにかく明るく、力強いもので、これもバリらしいな、と思いました。

さて、次は恒例のバリでの美味しいもの！をご紹介します。

バリの写真をもっとご覧になりたい方は、ブログをご覧くださいね。

<http://akemiori.blog67.fc2.com/>

前回：[オックスフォード便り（番外編 バリ島編 その1）](#)



豪華な結婚式衣装



お葬式の行進

## ■ 編集後記

有識者とは??

新しいカードを作る必要があり、オンラインで申込みをすることにしました。

入力フォームに必要事項を入力していると、キーを打つ手が止まりました。職業欄はいつも、会社員、自営業、公務員、自由業、その他などなどあってその中から選択をするのですが、いくら画面を眺めても今回は自分に当てはまるものが見つかりません。項目は「有識者」「自由業」「学生」「その他」ぐらいしかありません。まさか私が有識者なわけがないとその他にチェックをしようとしたのですが、ふと考えてみると有識者の有識とは常識がある？博識がある？なのかなーとますますわからなくなりました。

これはちゃんと意図を聞いてみようと思い問い合わせをしてみました。カード会社いわくカードを持たれる方はすべて有識者ですと言いきられました。

でも自分が有識者なんて恐れ多いです（リマル）

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)